

令和3年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

| | | | |
|----|----|-----|---------|
| 番号 | 21 | 学校名 | 奈良北高等学校 |
|----|----|-----|---------|

1. 事業内容について

| | |
|--------------------------------------|---|
| 取組・活動・事業名等 | みんなDEサイエンス ～生活の中で科学を体験しよう～プロジェクト |
| 教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい | 数理情報科1・2年生が課題研究において実施する。夏休みに生駒市立の小学校に向けた家でできる実験テキストを作成し発信すると共に、質問等に回答する。また、1年間の研究成果を地域に発信する。 |
| 連携・協働相手 | 生駒市教育委員会、生駒市立小学校、上町自治会、真弓南自治会 |
| 地域と共有している 目標・課題等 | 本校の目標であり課題でもある「地域に愛される学校」「地域から期待される学校」を目指し、これまでも「夏祭り」や「夕暮れコンサート」で交流をしてきたが、本校の教育の取組をより地域住民に知っていただくことにより、地域との連携を深める。 |
| 取組・活動の内容（生徒の主体性、 具体的活動、連携・協働内容など） | 「奈良北うちDEサイエンス」数理情報科1年生が課題研究の夏期休業中の課題として、小学生が家でできる理科の実験テキストを作成し、GIGAスクール構想を活用して生駒市立小学校の児童に発信した。また、3月に生駒市立の各小学校にテキストとCD（テキストのデータと実験動画、2年生の課題研究の発表の一部）を配付する。また、生駒市立の中学校に、課題研究の発表内容を記録したCDを配付する（現在作成中）。 地域に対しては、秋に「地域DEサイエンス」を「秋のコンサート」と共に開催し、地域の小学生やその保護者、地域の住民に参加していただき、感想や意見をいただいた。 |

2. 事業の成果と課題

「地域DEサイエンス」は、実際に児童や地域の方々と接し、質問や意見を直接聞くことができた。そのことにより、生徒自身が学習を見直しわかりやすく伝えることの難しさや大切さを認識することができ、興味・関心、意欲が高まった。更に、創造力や発想力に繋がる仕組みを、行政や地域との連携を深め探していきたい。

【生徒の感想】

自分たちがもっている知識を用いた実験を紹介したり、教えたりする体験ができた。伝えることは、難しいこともわかった。地域の方々と交流できて、貴重な体験ができた。

